

(別紙2)

### 3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください

#### 事業名：地域中核企業支援事業（B事業）

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

■ 県内企業が有する技術力や展開力の一層の強化を図り、地域の事業者に影響力を及ぼす「地域の中核企業」へと成長する道筋を明らかにすることで、より高付加価値かつ海外市場ニーズも踏まえた戦略的な製品やサービス、ビジネスモデルの創出を促進し、魅力ある産業・質の高い雇用の創出を図ることを目的とする。

#### ■ 本事業の成果、目標

- ・ 支援先数：4件
- ・ 本事業の成果：支援計画書(5ヶ年)作成
- ・ 本事業の目標：
  - ① 支援企業別の事業計画より、各初年度目標を達成数
  - ② 支援企業による、実施した各支援項目に対する評価度合い。（顧客満足度）⇒75%

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

- ・ コーディネーターを1名雇用
- ・ 支援企業を県内より公募、5社採択
- ・ コーディネーターが個社別事業計画を作成（5先）
- ・ コーディネーターが中心となり各支援企業へ訪問指導。
- ・ 計画実現へ向けプラザ内の他職員も活用し指導実施。
- ・ 必要に応じて、適宜外部専門家を個社別に派遣。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】※別紙一覧表あり

|                | 〈計画〉                                       | 〈実績〉        |
|----------------|--|-------------|
| ・ 支援先数         | ：4件  | → 5件（120%）  |
| ・ 支援計画書(5ヶ年)作成 |  | → 作成        |
| ・ 各初年度目標を達成数   |  | → 5社達成      |
|                | ※達成指標（定量・定性）設定ができておらずコーディネーターの自己評価 → 今後の課題 |             |
| ・ 企業の評価        | ：満足75%以上                                   | → 100%（5/5） |

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

事業の大目的は県内中核企業数を増やすことで県内中小企業へも取引が波及することにより滋賀県の県内総生産(GDP)を増加させること。そのために当プラザとして中核企業を育成するため多面的に伴走支援を行った。今年度の支援事業で、自社独自では中期計画の立案～実施がすすまない企業が多数あることが判明した。課題の掘り起こしにより支援することで確実に1ランク成長できた。またセミナーで事例紹介をし本事業の成果を実証する事ができた。一方で今後飛躍するための先行投資に対する評価（定量/定性）が不足し、支援の実態や現場の取組みを適切に評価できないという課題が表出した。今後は大目的に向かって今年度のB事業で判明した課題をA事業として企業の成長を支援し中核企業数を増やしていく。

注1) 上記項目について詳細に記載してください。

注2) 成果（結果）の内容について、別途、お伺いすることがあります。

注3) 成果物があれば提出してください。